



令和6年度 学校だより

令和6年12月24日

くすのき



白沢小ホームページ <http://www.ueis.ed.jp/school/shirasawa/>

白沢小学校長 石渡 美穂

古里中学校と連携を図っています ～宮チャレ・乗り入れ授業～

【宮っ子チャレンジウィーク】

「くすのき」の11月号に「小中合同挨拶運動」の様子を紹介しましたが、実は、もう一つ中学校との連携事業として「宮っ子チャレンジウィーク（中学生の職場体験学習）」が11月11日～15日の1週間で実施されました。今年度は2名の中学生が小学校の仕事を体験するために、本校に来ました。初めは緊張していましたが、小学生の笑顔に迎えられて安心すると、どんどん積極的になっていきました。興味をもっていた教員の仕事を将来の夢にしたいと思い始めたようでした。中学生は礼儀正しい態度や言葉遣い、小学生と接する際の気遣い等ができ、素晴らしい活動ぶりでした。そのような中学生の姿を目にして、小学生も自分の近い将来の姿を思い浮かべることができたようでした。小中学生双方にとって、とてもよい機会になりました。



【乗り入れ授業】

12月17日（火）に古里中学校の数学の教員が6年生に授業を実施してくださいました。中学校生活の話もしてくださり、少し不安が解消されたようでした。来月には実際に進学先の中学校に出向いて見学してくる活動も予定されています。心配される「中1ギャップ」を乗り越え、スムーズに中学校生活がスタートできるよう支援してまいります。



「合同点検」の結果 一道路標示が修繕されました

宇都宮市では、通学路の交通安全を確保するため、小中学校から改善依頼のあった通学路について、必要に応じて修繕を図る仕組みがあります。今年度は南門近くの路面標示が薄くなったため、年度当初に依頼を出していました。このほど、修繕が済み、路面標示がはっきりと描かれました。学校で対応できるのは通学路のみですが、気になる箇所がありましたらご連絡ください。また、修繕の必要性を強調するためにも、自治会や子供会等からも直接宇都宮市へ要望していただけるとありがたいです。



「授業力向上」に向け研修を実施しました

12月16日（月）に栃木県教育委員会の「学力向上コーディネーター派遣事業」の一環で、授業研究会を実施しました。3年2組と5年1組の国語の授業を全教職員で参観し、放課後、

「子供たちが考えを深める授業の在り方」について研修を行いました。今後も継続して、よりよい授業づくりを目指してまいります。



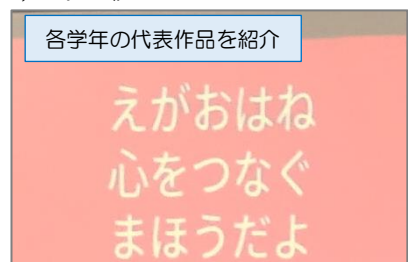
子供たちの心に届くことを願って ～人権集会・感謝の会を実施しました～

学校では、子供たちへの教育として多岐にわたる「〇〇教育」を数多く担っています。「道徳教育」、「人権教育」、「安全教育」、「健康教育」、「情報モラル教育」、「国際理解教育」、「金銭教育」等々、挙げてみると切りがありません。もちろん、様々な機会を作って、あるいは機会を捉えて「〇〇教育」を実施しています。そのような中でも、子供たちの心を育てる教育、豊かな感受性を育てる教育には、力を入れているところです。今月、そのような集会を2つ実施しましたので、お知らせします。

【人権集会 ～人権標語作成のご協力、ありがとうございました～】

12月4日（水）に児童会主催(集会委員・代表委員)で、「人権集会」を実施しました。今年度は保護者の皆様にも関わっていただき、子供たち一人一人が人権標語を作成しました。ご協力いただき、ありがとうございました。標語を作成するにあたり、どのような会話がなされたのでしょうか。「人権を守る」と一言と言っても、様々な視点から考えることができます。校内に掲示された標語を見ると、「いじめ」や「様々な差別」等の問題点から作成されたもの、逆に「思いやり」や「優しさ」、「公平」等の解決の糸口になるようなことから作成されたものがありました。人権について真剣に考えて作られたことがどの作品からも伝わってきました。

集会では、人権教育担当教員と私から、子供たちに向けて話をしました。私は、「まずは、人権について考えることが『自他の人権を守る』第一歩です。」と伝えました。「人権を守る」、「人権を侵害しない」ということは、大人でも難しさがあり、考え続けなければならないことだと思うからです。子供たちにも、多くの人の考えに触れ、考え続けてもらいたいと思っています。ぜひ、ご家庭でも、折に触れて話題にしてみてください。



【感謝の会 ～ありがとうございます～】

12月18日（水）に、こちらも児童会主催(集会委員会・代表委員会)で「感謝の会」を実施しました。年間あるいは一定期間、活動をしてくださっている交通指導員、読み聞かせ、図書室整備、地域コーディネーター、水泳学習支援のボランティアの皆様にお集まりいただきました。私から皆様を紹介する際、「ボランティアの皆様のお顔を見て、どんな場面でお世話になっている方か、分かりますか。」と問いかけると、児童それぞれに思い出す場面があったようで、近くの友達と話す様子がありました。また、全員が「感謝の手紙」を書いたのですが、その中には、本の題名が具体的に書かれているもの、登校班の集合場所で話しかけてくれたことに感謝しているものなど、自分との関わりを明確にして書いている手紙が数多くありました。ボランティアの皆様の活動が子供たちの記憶にしっかりと残り、感謝の気持ちにつながっていると感じました。今回、ご招待することができなかった方もいらっしゃると思います。様々な場面で子供たちを支えていただいていることに、改めて感謝申し上げます。

